



巡礼その六十二 宮城・岩手

2023年5月17日

今回は東北の隠れキリシタン（潜伏キリシタン）と石仏を訪れる。

4時30分起床、5時10分タクシーで恵比寿へ。東京駅で大船軒のサンドイッチを買う。東京駅新幹線乗り場は結構人が多い。6時32分のハヤブサで仙台へ行き、駅レンタカーで仙台キリシタン殉教碑を目指す。東北大学病院の近くの広瀬川沿いにある。駐車場がないので近くの桜丘大神宮に駐車して歩いていく。ポルトガル人宣教師ディエゴ・カルワリオ神父（日本名：長崎悟郎衛門）真ん中に殉教した武士と農民の像を左右に配置した像が立っている。仙台の街は水と緑が美しい。仙台から離れて黒川郡大和町にある中野地藏堂へ行く。堂の中にはとても大きい地藏と2体の石仏が祀られている。地藏の前にはコケシやぬいぐるみ、ジュース、お酒などいろいろなものが捧げられている。とても背の高いお堂だ。堂の前にはとても出来の良い観音がある。さらに大きな石に薄肉彫された青面金剛庚申塔がある。同じ黒川郡大和町にある鶴ヶ峯八幡神社は参道の鳥居の横に石塔が並んでいる。その中に全て揃ったフル庚申塔がある。とても良い出来で彫刻も細かい。さらに参道を進み急な石段を登るととてもユニークな狛犬の奥に拝殿がある。拝殿の横に石仏が5基並んでいる。とても良いできである。次に黒川郡大郷町にある志倉メモリアルパークへ行く。支倉常長の墓は3ヶ所存在するがここが一番有力である。駐車場から入ると支倉常長が立っている。とても綺麗に整備され小川が流れている。道に沿って歩いていくと上りになる。そこに常長の義弟の墓がある。さらに登っていくと覆屋の中に墓石が立っている。ここでひっそりと余生を送ったと思われる。ここから松島の円通院へ行く。瑞巖寺、円通院はとても観光客が多い。修学旅行の学生もいる。瑞巖寺と同じく洞窟が多い。三慧殿の厨子を見てバラ園へ行くがまだ早く花は咲いていない。ここで珍しい日本ランの石斛が咲いていた。隣の瑞巖寺へ行く道は観光客で賑わっている。本堂に上がり拝観する。ここの目的は洞窟遺跡群で参道にある。たくさん洞窟があり内部には塔や石仏が安置されている。その前に西国三十三観音石仏が安置されている。これらを見ながら海に向かい、五大堂へ行く。途中お昼になったので瑞巖寺の門前のお店で生牡蠣を売っていたので中に入り、生牡

蠣3個と牛タンのタコス、牛タン串を食べる。五大堂は観光客でいっぱいである。ここにもカキ屋があり、ここでは蒸しガキとカキフライを食べる。すぐ近くの日吉山王神社へ行き、階段の途中の岩に刻まれている庚申塔を見る。石巻へ向かい五十鈴神社の庚申塔と伊去波夜和氣命神社の不動明王を見る。伊去波夜和氣命神社は不思議な神社で境内にある建物は全て赤く塗られていて、立派な土俵がある。支倉常長一行を乗せた慶長使節船サン・ファン・パウティスタ号が、ローマへ向け出航した月浦港へ行く。港の上に支倉常長の銅像がある。月浦港はとても小さな港でここにサン・ファン・パウティスタ号が係留されていたことを想像するのは楽しい。本日最後の石巻ハリストス正教会へ行く。石巻の町中を流れる旧北上川の中州に建っている。現存する木造教会堂建築としては日本最古のものですばらしい建築である。内部を見学する。この教会の前は石ノ森萬画館である。ここから本日の宿南三陸ホテル観洋まで1時間である。海の近くは災害の傷跡が残っている。古い建物はほとんどない。ホテルは海の断崖の上に建っていて眺めが素晴らしい。チェックインするとなんと修学旅行の学校が二組きっているとフロントで説明された。しかし夕食や風呂は別で問題はないとのこと。まずは風呂へ行く。内風呂はとても綺麗なインフィニティ風呂で大きな窓の外は大海原である。露天もとても良い。なんとサウナに窓がついていてここからも太平洋が一望できる。夕食はアワビのバター焼き、殻付きウニ、海鮮釜飯など全て美味しい。別注でホヤとメカブの酢の物も食べる。期待していなかったがとてもコスパが良いホテルである。9時30分に寝る。

5月18日

4時半に起きて風呂に行く。風呂は朝日が見られるように4時からやっている。すでに太陽は昇っていたがとても美しい。露天でボーと眺めていた。サウナに入り部屋に戻る。まだ6時前なので日記を書いていた。7時半に食堂に行くと修学旅行の学生で大変な騒ぎになっていたが、バイキングになっていて、修学旅行の列とは別で一般宿泊者のテーブルも別であった。肉じゃがと白いシーフードカレーが美味しい。コーヒーも美味しかった。まずは今回の旅行のメイン大籠キリシタン殉教公園へ行く。40分ぐらいで公園入り口に着く。ここは地蔵の辻と言い、ここでも178名の信徒が殉教した。公園に入り駐車場に車を止めて歴史の庭に行く。聖なる泉に土屋瑞穂作の母子像と資料館の横に魚の像イフトゥス（キリスト教徒のシンボル）がある。資料館に入り東北キリシタンの迫害ビデオを見て見学する。大籠の殉教ジオラマが素晴らしい。次に歴史の道へ行く。頂上にあるクルス館まで急な300段の階段が続く。歴史の道はその間を迂回しながら舟越保武のレリーフ「十字架の道行」が14枚立てられている。5月の中日なのに30度もあり汗だくで登る。クルス館は舟越保武が設計した教会風の建物で中に作品が展示されている。汗だくで飛び込んだ館

内は薄暗く逆光で輝く十字架のキリスト像は素晴らしく靈感に打たれ、汗が引いていく。車に戻り大籠教会へ行く。5分ぐらいで着くと、シスターの団体が写真を撮りまくっていた。次の一関市千厩町にある永澤寺までは40分ほどかかる。ここには色が残っている石像三十三体観音像がある。住職は不在であったが見学させてもらった。次の遠野までは1時間で着いた。ここでお昼にシンギスカンを食べる予定である。遠野食肉センターへ行き生ラム三種とホルモン三種の盛り合わせ(2700円)、チョレギサラダ、ラムソーセージ、ラムのチャンジャを食べる。とても美味しい。私のシンギスカンの聖地は、信州新町、札幌、遠野である。そのほか高原の牧場なども大好きである。千葉のマザー牧場には時々行く。遠野といえば柳田国男の遠野物語で有名な民話の里である。その雰囲気を味わうために遠野伝承園へ行く。古民家が移築され柳田国男の世界を体験できる。ハイライトはおしら様が再現されているオシラ堂で千体のおしら様が展示されている。この時カメムシの異常発生で堂の中はカメムシが飛び回り、恐ろしい状態であった。カッパ淵を再現した庭も素敵で、珍しいアツモリソウが沢山咲いていた。ところどころに使ったマネキンや人形がとても怖い。ここはオススメである。歩いて遠野常堅寺・カッパ淵(カッパ狛犬)へ行く。のんびりしたところで雰囲気がある。時間がないので花巻へ向かう。時間がないので花巻宮沢賢治記念館だけ見る。ここから温泉まで30分ぐらいである。花巻温泉悠の湯風の季へチェックイン。駐車場にはたくさんの車が止まっている。リーズナブルな旅館で人気がある。チェックインして風呂へ行く。内風呂も露天の也不错。夕食もコスパが高い。食後にラウンジでコーヒーを飲む。9時30分に寝る。

5月19日

5時30分起床、6時に風呂へ行く。早朝の露天風呂は気持ちが良い。7時に朝食バイキング。8時出発。秋田の県境に向かう。以前秋田の人形道祖神の旅で離れていて回れなかった横手市田代沢の人形道祖神カシマサマへ行く。この他隣の岩手県西和賀町にも2体の人形道祖神がある。これを見て花巻に戻り、八坂神社の青面金剛像庚申塔と田力の青面金剛像七庚申塔を見る。ここから1時間で盛岡に着く。すぐ人気の冷麺店盛楼閣へ行く。11時半なのに10人ほど並んでいる。15分ほど並んで店内へ。客の95%は冷麺だけ食べている。私の感覚では冷麺はあくまで焼肉のシメである。まずカルビ、ラムの肩ロース、ミノ、レバー、オイキムチ、シメに冷麺とコムタンを頼む。焼肉は全て絶品で透明なタレがすごい。冷麺はみんなが食べに来るだけあってこれまた絶品である。まだ時間が3時間ほどあるのでターリーズでコーヒーを飲みながら予定を考える。確か盛岡は古い建物が残っていることを思い出し、携帯で調べてみて回ることにする。旧石井県令邸、旧宣教師館、旧第九十銀行、盛岡銀行

(岩手銀行) 本店、盛岡信用金庫本店 (旧貯蓄銀行)、紺屋町番屋などをみて回り、白沢せんべい店で南部煎餅を買い、ガソリンを入れてレンタカーを返す。駅の中でイチゴパフェを食べて 17:44 分のはやぶさで帰る。